

# 仕 様 書

## 1 概要

### (1) 需要場所

横浜市立大学鶴見キャンパス（供給先は同敷地内の理化学研究所横浜事業部も含む）

横浜市鶴見区末広町一丁目 7 番 29 号（横浜市鶴見区末広町一丁目 7 番 22 号）

※ 受電設備等が横浜市立大学鶴見キャンパス敷地内に設置。

### (2) 用途

横浜市立大学及び理化学研究所で使用する電力（電灯、動力）

## 2 仕様

### (1) 電力供給条件

- ア 電気方式 交流 3 相 3 線式
- イ 供給電圧 標準電圧 20,000V
- ウ 計量電圧 標準電圧 20,000V
- エ 受電方式 2 回線受電

### (2) 契約電力及び予定使用電力量

#### ア 契約電力

常時 5,200kW

特別高圧予備電力（予備線） 5,200kW

（契約上使用できる電気の電力の最大需要電力をいい、30 分間単位最大需要電力計により計測される需要電力が原則としてこれを超えないものとする）

#### イ 予定使用電力量 30,518,025kWh

（月別の予定使用電力量は別紙とする）

#### ウ 力率 100%（平均）

#### エ 蓄熱式負荷設備 有り

（ア） 氷蓄熱水槽 153m<sup>3</sup>

（イ） 電力量計量電圧 200V

### (3) 見積条件

本仕様書の各種条件及び前述した月別の予定使用電力量を参照し、一番割安な契約形態で総価格を提示すること

### (4) 履行期間

令和 8 年 4 月 1 日（0:00）～令和 9 年 3 月 31 日（24:00）まで

### (5) 電力計の検針

ア 自動検針装置 有り

イ 電力会社の検針方法 自動検針

ウ 電力量計構成 東芝製 型番 SP3ER-R 形

3 P 3 W パルス定数 50,000 パルス/kWh

- (6) 需給地点  
横浜市（横浜市立大学）が施設した断路器電源側接続端子と東京電力の  
地中引込線終端接続部口出線との接続点
- (7) 保安上の責任分界点  
上記「需給地点」と同じ
- (8) 財産分界点  
上記「需給地点」と同じ
- (9) その他  
自動力率調整装置あり

### 3 その他

- (1) 力率の変動、その他の要因による電気料金の調整及び仕様書に定めのないその他の  
供給条件については、関東管内の一般電気事業者が定める特定規模標準供給条件によ  
る。

なお、契約業務は横浜市立大学鶴見キャンパスにて実施するが、毎月の請求先は理  
化学研究所横浜事業部宛てとする。

また、入札価格の算定にあたっては、力率は100パーセント、燃料費調整額及び  
太陽光発電促進付加金は考慮しないこと。

- (2) 電力供給における料金その他の計算する場合の単位及びその端数処理は次のとおり  
とする。

ア 契約電力及び最大需要電力の単位は1キロワットとし、その端数は小数点以下第  
一位で四捨五入する。

イ 使用電力量の単位は1キロワット時とし、その端数は小数点第一位で四捨五入す  
る。

ウ 料金その他の計算における合計金額の単位は1円とし、その端数は小数点以下を  
切り捨てる。

エ 消費税及び地方消費税の単位は1円とし、その端数は小数点以下を切り捨てる。

- (3) 燃料費調整（市場調整分を含む）及び電気事業者による再生可能エネルギー電気の  
利用の促進に関する特別措置法に基づく賦課金は、契約金とあわせて請求により支払  
うこととする。燃料費調整（市場調整分を含む）は、東京電力エナジーパートナー株  
式会社のベーシックプランにおける最新の調整単価に使用分を乗じた金額を上限とし、  
上限を超える場合は別途協議とする。最新の調整単価がマイナスの場合は、契約金か  
ら差し引くこととする。また、国による電気料金の緩和措置等を適用している場合は、  
国が定める基準額に応じた額を差し引いて請求することとする。